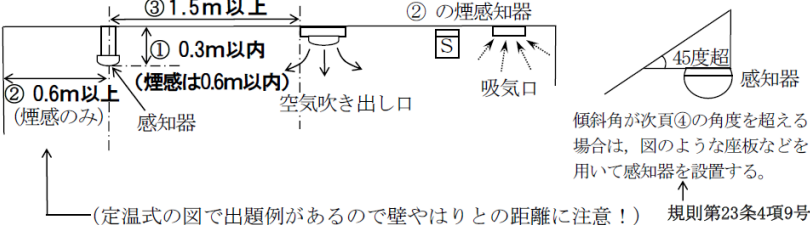
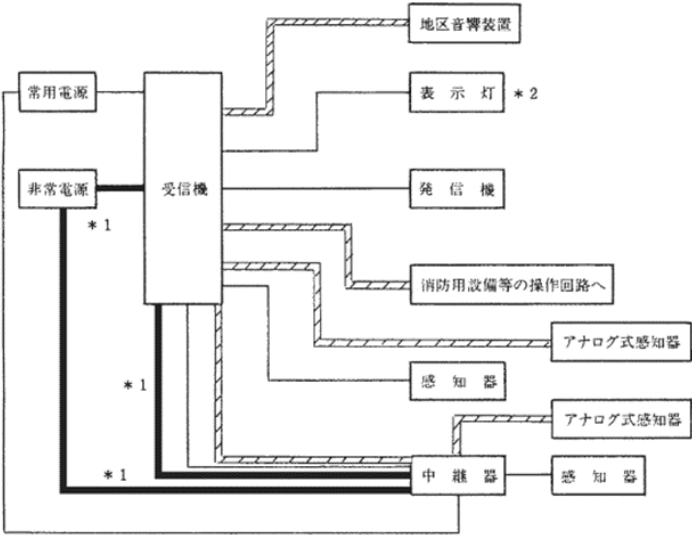


「本試験によく出る！第4類消防設備士問題集」（改訂第7版） お詫びと訂正
 本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

頁	訂正箇所	訂正内容	
133	感知器の設置上の原則図 右の図に変更		
141	【問題 33】 解説 6 行目	・・・ 4 m 以上 2 0 m 未 満 ⇒ ・・・ 4 m 以上 2 0 m 未 満 (2 種 は 1 5 m 未 満)	
336	【問題 4】 解答 H ※下に詳細があります。	◎	×
336	【問題 4】 解説文 3 行目	ので， G は一般配線 でかまいません。	ので，一般配線 でかまいません。

P.306【問題 4】の解答， P.336， 問題 4 の H について:下図、平成 14 年 9 月 30 日、消防予第 282 号の耐火、耐熱配線の図より、H は*1 の部分になり、受信機に予備電源が内蔵してあれば受信機～非常電源の間は一般配線でよいという解釈の元に、解答を一般配線に訂正させていただきます。

⑤ 自動火災報知設備



（**——**は耐火配線、**——**は耐熱配線、**——**は一般配線を示す。）

注 *1 中継器の非常電源回路（受信機又は中継器が予備電源を内蔵している場合は一般配線でよい。）
 *2 発信機を他の消防用設備等の起動装置と兼用する場合、発信機上部表示灯の回路は、非常電源付の耐熱配線とすること。